

## ようこそウトナイ湖へ!

Q. ウトナイ湖って、どんなところなの?



A. 周囲は約9km、面積は約275ha、平均水深は約0.6m。かつて周辺は海だったため、その痕跡として砂丘などがあります。現在は、水域、湿地、草原、林など多様な自然環境が見られます。



Q. ウトナイ湖ではどんな野鳥が観察できるの?



A. これまでに約270種の記録があり、年間では約130種が確認されます。3~4月および10~11月はガン・カモ類やハクチョウ類の、5~7月は夏鳥の観察に適した時期です。



Q. ウトナイ湖の自然は守られているの?



A. 湖を含む510haは、日本野鳥の会が1981年にサンクチュアリとして保全を開始しました。翌年に国指定鳥獣保護区(特別保護地区)、1991年にラムサール条約湿地となり、法的にも守られています。



Q. サンクチュアリって何?



A. 自然保護や環境教育の拠点。日本野鳥の会は1970年代後半から計画を進め、日本初のサンクチュアリをウトナイ湖に開設しました。



Q. レンジャーは何をしているの?



A. 来館者の案内、学校や団体利用者へのプログラム対応、イベントの企画実施、環境調査や保全活動、ホームページ運営などを行っており、仕事は多岐にわたっています。



Q. おすすめの楽しみ方は?



A. 水鳥の群れが立ち寄る春と秋、北海道で繁殖する野鳥がさえずる夏、あこがれのオオワシが空を舞う冬、それぞれの季節に様々な魅力があります。ネイチャーセンターで情報入手し、自然観察路を散策するのがオススメ。このパンフレットを開いてみましょう。



- 車の場合: 道央自動車道「苫小牧東IC」より約10分、「苫小牧西港フェリーターミナル」より約30分、「新千歳空港」より約20分。いずれも国道36号経由
- バスの場合: 道南バスで「新千歳空港」より約20分、「苫小牧駅前」より約35分、「ネイチャーセンター入口」下車後、徒歩で約15分

## 利用案内

- ネイチャーセンター  
開館日: 土・日曜日および祝日(年末年始を除く)  
開館時間: 9:00~17:00  
入館料: 無料(館内に募金箱を設置しています。ご協力をお願いします)  
※入口にスロープ有  
※トイレ有。男性用×2、女性用×2、バリアフリー×1
- 自然観察路  
いつでもご利用いただけます。なお、降雪等により閉鎖する場合があります。ご注意ください。
- 団体でのご利用  
事前に利用申込書の提出をお願いします。なお、バードウォッチングやウォークラリーなど、レンジャーが対応するプログラム(有料)をご用意しています。ご希望の場合はご相談ください。
- フィールドでのマナー  
サンクチュアリ内は火気厳禁です。煙草もご遠慮ください。  
サンクチュアリは野生生物の生息地や自生地です。昆虫や動植物の採集、釣りやカヌー、ベットの持ち込み、自転車やバイクの乗り入れなどはご遠慮ください。

**B** 公益財団法人 日本野鳥の会  
Wild Bird Society of Japan

## ウトナイ湖サンクチュアリ ネイチャーセンター

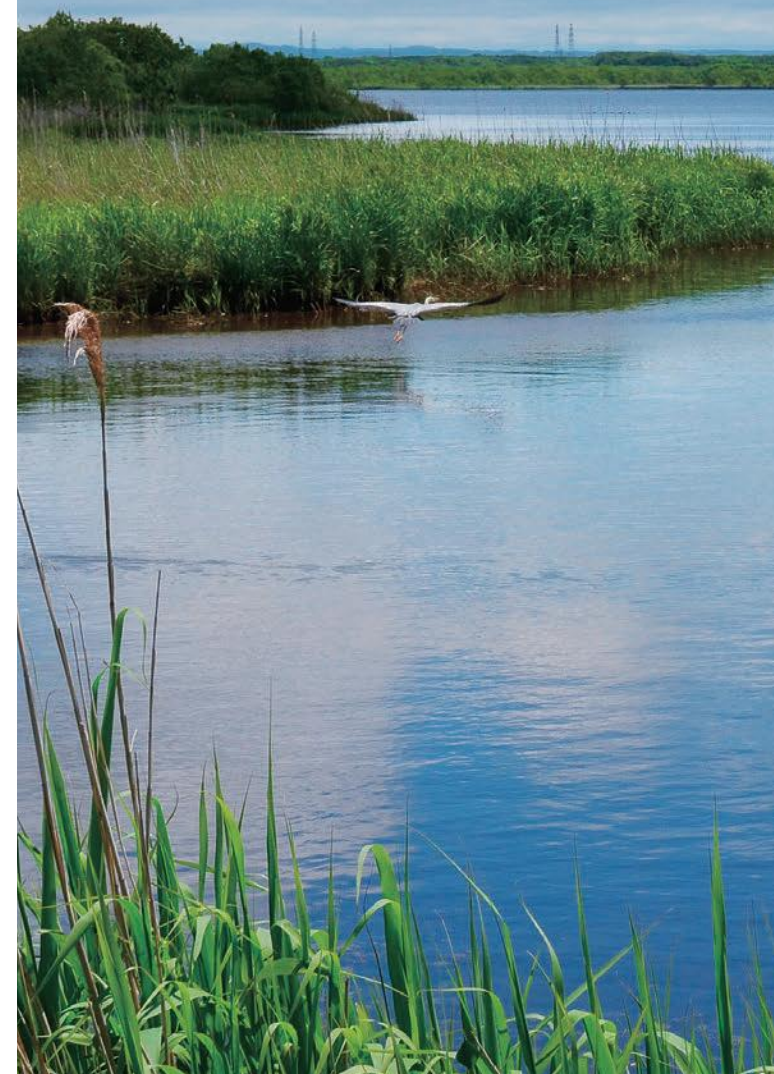
〒059-1365 北海道苫小牧市植苗150-3  
TEL.0144-58-2505 FAX.0144-58-2521  
<http://www.wbsj.org/sanctuary/utonai>

西五反田事務所(財団事務局)  
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
TEL.03-5436-2634 FAX.03-5436-2635

制作協力: 苫小牧ハスカップライオンズクラブ

2016.03.1000

# ウトナイ湖 サンクチュアリ UTONAI-KO SANCTUARY



# ウトナイ湖の四季



春

夏  
繁殖期を迎え、ノゴマなどの夏鳥が美しい声でさえずる(6月)

マガンの大群が、繁殖地のロシアへ向かう途中に立ち寄る(3月)

秋

ガン・カモ類やハクチョウ類が、越冬地へと渡る途中に羽を休める(10月)

冬

湖岸の樹上や結氷した湖の氷上に、オオワシがたまたむ(1月)

## ネイチャーセンター館内をご紹介します!



野鳥情報など、遠慮なくレジャーにお尋ねください

望遠鏡で水鳥やオジロワシなどを探してみましよう



お茶をしながら、ゆったりと窓の外の風景や野鳥を楽しめます

休憩コーナー

展示ホール

望遠鏡で野鳥を観察できます。量販きなので、のんびりとくつろげます。折り紙やボードゲームもあります



2階展望室



レクチャールーム

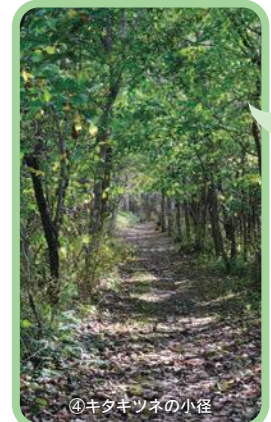
イベントや団体対応などで使用し、椅子を並べると50人ほどが入れます。有料での貸し出しも可能です

## 自然観察路を歩こう!



①イソシギのテラス

夏は魚を狙うアオサギ、春と秋はガン・カモ・ハクチョウ類の群れが見られます



④キタキツネの小径

新緑の季節は、キビタキやセンダイムシクイなどの歌声でにぎやかです

夏鳥のコーラスを浴びながら、エゾキスゲやホザキシモツクなどの草花を楽しむのもおすすめです

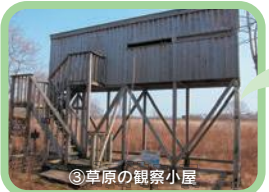


⑤イソシギの小径



②タスオ池

早春はエゾアカガエルが産卵する人工池。夏は小鳥が水浴びをする姿も見られます



③草原の観察小屋

春から夏の間は、2階の小窓を開けて、夏鳥のさえずりを楽しみましょう

## 自然観察路マップ



- ハスカップの小径
- イソシギの小径
- シマアオジの小径
- キタキツネの小径
- キツツキの小径
- ハクチョウの小径

## サンクチュアリの活動



### 保護・保全(自然を守る)

ウトナイ湖を含む勇払原野に残る自然環境は、多くの野生動植物の重要な生息地や自生地となっています。私たちは、この自然を守るため、希少鳥類の生息状況調査、行政や関係機関との連絡調整や協議、要望書の提出などの活動に取り組んでいます。

### 普及・教育(自然を伝える)

勇払原野に奇跡的に残る、豊かで貴重な自然。私たちは、周辺地域に住む子どもたちをはじめ多くの方々に、この価値や重要性について知っていただけるよう、イベントの開催や小学校の学習対応などの活動に取り組んでいます。

## ウトナイ湖ファンクラブ



私たちの活動をご支援いただく賛助会です。会員の皆様には会員証を発行し、ネイチャーセンター内にネームプレートを掲げ、自然や活動を紹介する通信紙を定期的にお送りします。入会案内を用意していますので、お気軽にお問い合わせください。

